

モニタリングシート(基盤施設)

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 30 年度)

施設の名称	有料公園施設・特定公園	指定期間	27	年度～	29	年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理			
施設所管課	建設局都市整備部公園管理課	連絡先	竹田・内線3101			
設置目的	市民にスポーツ・レクリエーションや憩いの場を供することで、公共の福祉の増進に資するため					
施設内容・業務内容等	有料公園施設及び特定公園の維持管理に関する業務 特定公園における行為の許可及び利用の禁止又は制限に関する管理に関する業務 有料公園施設の使用の許可及び使用の許可の取り消しに関する業務 有料公園施設の使用料及び特定公園の使用料の減免及び還付に関する業務 その他市長が認める業務					
指定管理者	公益財団法人 東大阪市公園環境協会	連絡先	事務局局長 脇本 肇 072-974-7229			
人員体制	正規職員	1	人	パート・アルバイト	22	人
				その他		人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	365	366	365	365	365
指定管理委託料(千円)	161,912	161,912	161,912	※164,808	※166,334
利用状況指標	1 庭球場利用者	一般利用83,160 大会使用18,950	一般利用74,949 大会使用8,104	一般利用73,281 大会使用7,466	補足説明 一般利用と大会使用による利用者数。大会使用とは、市主催又は市が招へいた大会および後援を得た大会で、土日祝は5割まで。
	2 野球場利用者	一般利用100,454 大会使用57,508	一般利用99,714 大会使用64,631	一般利用96,803 大会使用52,963	補足説明 一般利用と大会使用による利用者数。大会使用とは、市主催又は市が招へいた大会および後援を得た大会で、土日祝は5割まで。
	3 多目的球技広場利用者	個人利用2,927 大会使用44,103	個人利用1,065 大会使用18,359	個人利用4,090 大会使用43,167	補足説明 一般個人利用と大会使用による利用者数。平成28年度が著しく少ない理由は、陸上トラック改修工事で、平成28年5月～12月を閉鎖していたため。

※平成30年度以降は4公園を追加し、利用料金制に移行

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、  
B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。

「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	災害時対応マニュアルどおり警戒態勢が執られていた。 市民サービスを第一に考え、施設の安全性の確認は行われていた。 プロパー職員一人での対応は限界があり、特に土日祝日は、プロパー職員が不在となっていた。 市民が求めるニーズの多様化の把握に努め、対応するためにも、事業報告書等での検証や自己評価をきっちり行ってほしかった。
B 管理・運営能力	人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	B	バーベキュー、露店といった苦情対応は、警備により改善された。 遊具の点検を再委託で行っていて、修繕を計画的に行う仕組みが出来ていたが、計画通りに行っていない場合が見受けられた。 利用者や近隣住民からの苦情が常にあることは仕方ない。対応できる場合は迅速に対応していたが、出来ないとき、市にそのことが寄せられることがあり、粘り強く対応してもらいたかった。 徒歩による巡回を午前・夕方の2回実施し、巡回日報に記入している。特に野球についての苦情に対し、巡回時、やめてもらうよう促す対応が難しかったようで継続的に粘り強く対応してほしかった。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	B	公平な利用がなされていない、基準があいまいなところなど、運用上課題に対する認識が甘かった。市の指導により、改善されたが、一部改善されなかった。 研修した報告、市と協議した内容の情報伝達がされていない場合が見受けられた。 公園の利用を活性化させるようなサービスの向上策に乏しかった。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	有料公園施設整備についての努力が見られた。また、施設の修繕に取り組んでいた。 意見箱設置しているが意見がなく、新たな取組みが必要であった。 ホームページを活用して、事業計画どおりに運用されていた。 ドッグランのマナーや運用についての苦情が多いことは把握していたようだが、改善が難しく対応に苦慮していた。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	水準は維持していた。 花壇の世話をするボランティア団体との連携が図れるよう取り組み始めた。 成果指標は前年度と同様していたが、前年度の実績から目標値の見直しが必要であったと思われる。 市への30万以上の補修依頼が増え、市が補修した額が増えたので、補修額が増える前に早期対応してほしかった。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	法令遵守、条例、規則について、理解しながら作業できていた。 廃棄物の処理は、その都度、問い合わせ確認し、慎重に行っていた。 研修や啓発が図られていた。 事業計画書や事業報告書はホームページで公開されていた。 現場職員へ事務連絡などの周知説明ができていない場合が見受けられた。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定)  A	概ね維持管理は、これまでに培ったノウハウを活用して対応していた。 管理運営の面では、苦情に対して今までのノウハウで課題解決に対する積極的な提案を期待していたが、苦慮することが多った。